

県政Walker

vol.21



コロナからの復興にむけて
警察常任委員としての取り組みを紹介します。

兵庫県議会議員
なか た えい いち
中田英一



コロナからの復興

に向けて提案を行っている主な項目

1

保健所・医療体制の再考

これまで兵庫県は国の方針に従い医療機関の病床数を削減してきましたが、コロナの蔓延で最も逼迫したのが病床をはじめとする医療資源だったことに照らしても、これを増強すべきことは明白です。しかし、病床数等を定める『兵庫県保健医療計画』の本年度改定では、病床削減への歯止めはかけられず、保健所の増強とあわせて再考を求めています。

3

事業者支援の充実(不公平感の是正)

コロナによる医療機関の逼迫(医療崩壊)を防ぐために、飲食店を始め感染リスクの高いとされる業種について営業が制限されていますが、補償金と合わせて不十分かつ公平性に欠ける面があります。再三指摘して参りましたがコロナ3年目に向けて引き続き是正を求め、兵庫県経済の復興を促して参ります。

2

学校/家庭/地域における 子供・若者のフォロー

子供・若者の多くは休校、授業の遅れや学校行事の取りやめ、友人との交流不足や、社会への不安などの様々なストレスを受けています。また、小学生からのプログラミング教育や英語の導入に加えてコロナ禍によるICT活用の急進や消毒など対応が激増する学校現場では子供を支える教職員にも大きな負担がのしかかっています。子供の豊かな育ちを支える体制を整えるよう求めて参ります。

4

リモートワーク等ICT化の 潮流を的確につかみ活かす

コロナ禍で東京をはじめとする都市部に人口(若者)が集中する状況が一変し、リモートワークの普及も相まって「密」を避けた地方移住の流れができています。農村部(地方)を多く抱える兵庫県にとってチャンスともいべきこういった状況にしっかりと即応した施策を提案し地方創生を進めて参ります。

所属する常任委員会が変わりました



令和
2年

警察常任委員会

警察活動について毎月調査や意見交換会を実施し、よりよい体制や活動づくりを行っています。

令和
3年

文教常任委員会

(教育委員会所管)

次号で詳細に触れさせていただきます。主にコロナ禍で子供たちが受けた被害の回復に努めたいと考えています!

1. 横断歩道アイズ運動



兵庫県下の2地域(三田署と小野署管轄区域内)で先行的に実施した運動で、横断歩道では運転者は歩行者に十分注意し、歩行者も横断に際して**手を上げ(合図)、運転者の目を見て(eyes)**安全を確認して、絶対に事故を起こさないようにしようというものです。

横断報道という歩行者にとって絶対に安全であるべき場所での悲惨な事故を2度と起こさないために県民を上げて取り組んで参りましょう!



課題

横断歩道の設置場所についても必要性を再検討(改廃)するべきではないか?

デメリット

白線の定期的な上書きのために**費用がかさむ**。
片側2車線道路や下り坂途中の横断歩道は徐行・停車が困難でかえって**歩行者に危険が及ぶ**。

解決方法

地域の同意と警察の連携で**不要(危険)横断歩道は撤去・必要な場所への移設が可能です**。
皆様の地域でも思い当たる横断歩道があれば
中田事務所か三田警察までお声がけ下さい!

2. 信号灯器・追い越し禁止・速度制限

① 信号灯器等老朽化問題

大型標識柱 16,150本

横断歩道 約46,000本

信号機 7,231基

※2018年度末

更新基準(19年)の超過率(38%)は
全国ワースト1位

老朽化を原因とする信号柱や大型標識柱の倒壊等が発生しているほか、横断歩道等の道路標示が劣化によって薄れ視認性が低下するなど、早期補修が必要です。

- ➡ 必要な箇所への新設や改修のため不要箇所の撤去
- ➡ 信号灯器等の安全設備に頼らない交通事故防止対策

② 追い越し禁止車線

見通しの悪い片側1車線道路(通学路は尚更)など危険な区間は追い越し禁止(橙色線)が必要

志手原小学校前県道について、見通しの悪い区間を追い越し禁止にできないかと交渉中。朝夕、通学と出勤の重なる時間に交通量が多く、信号機も無いためスピードが出る区間の追い越しは危険です。

③ 速度制限の変更

道路の拡幅整備や交通量の変化に応じて、速度制限についても見直すことが適切なケースがあります。

大川瀬の県道について
地元要望を受け取組み中です。



④ 視覚障害者用(音響式)信号機の設置

三田市役所の建替えにともなって市役所西交差点が新設されましたが、三田駅から視覚障害者が活動拠点とする福祉センターまでの経路でここだけ音響式信号機が付いておらず危険な状態です。



3. 三田幹線「表参道化計画」

三田駅 ~ 嶋ヶ谷 交差点までの区間

ナカタの
妄想です



背景 県道141号線は三田駅前を通り、一方は西方へと国道と武庫川を隔てて並走する市内最大の交通量を誇る主要道、他方は旧市街地を抜けてニュータウンを縦断する県道720号と重なり、「三田幹線」と呼ばれている。この「三田幹線」は名前の通り、ニュータウン住民の基幹道としてニュータウン地域と三田駅前とをつなぐ大動脈として、片側2車線に十分な歩道がつけられているものの、ニュータウン住民の多くは、この区間を避け、細い市道を通行しているため、市道沿線住民の危険につながっている。三田幹線沿いの店舗が次々と閉店し、活気のない沿道風景となっている。

目的 交通量の多いことを想定して整備された三田幹線に、交通の流れを誘導し、狭い市道沿いの危険(通学路を含め)を低減させる。交通量が増えることで、三田幹線沿道に活気が戻り新たな発展が起こること。(東京表参道のように)

方法 住民が三田幹線を避けるのは単純に時間がかかるためと考えられることから、県道の流れを改善させる。

- ① 三田幹線を走行する車の流れをスムーズにするよう信号機を連携させる。
- ② 交差点改良によって、不要な信号機の撤去を行う。
- ③ バス停切込みや違法駐車等の検挙促進による交通阻害の撤去。



その他、コロナによる生活や事業の困りごとなどなんでもご相談ください!

ご要望・お問い合わせはこちら
兵庫県議会議員
中田英一事務所

【平日：10時～16時】
三田市相生町 21-12
TEL + FAX (079) 509-0033
Mail: info@nacata.net



Profile
略歴

1981年5月29日生まれ 北摂第一幼稚園
武庫小学校 狭間中学校 北摂三田高校
関西学院大学 甲南大学法科大学院
特許事務所 行政書士 道の駅 介護職
兵庫県議会議員(ひょうご県民連合議員団所属)